

可茂農林事務所の普及活動状況 7月（HP）

スマート農業の推進

■無人防除機による薬剤散布実証試験について

美濃加茂市の特産である堂上蜂屋柿は、一戸当たりの栽培面積が少ないことや山間地で栽培されていることから、大型の農薬散布機械（スピードスプレーヤー）を使用する生産者は少なく、高齢化もあって防除作業も難しくなっています。

そのため、生産者や関係機関で構成されている堂上蜂屋柿産地振興協議会では、労力負担を軽減するための無人防除機による防除実証試験を計画し、1回目を7月12日に行いました。今回の実証試験で使用した機体は、バッテリー駆動のリモコン式防除機で100Lのタンクを備えています。

実証試験を行った柿園では、低い位置から枝が出ている所も多く、防除機の操作に苦勞もありましたが、従来に比べておよそ半分の一時間程度（面積10aあたり）で作業を終えることが出来ました。

防除作業を見守った生産者の方も予想以上の機械の能力を確認できた様子で、散布作業の軽減につながるなどの期待の声が聞かれました。今後も定期的に無人防除機の散布試験を実施し、農林事務所では防除効果について追跡調査を行い、活用できる補助制度も含め現地への導入に向けて支援をしていきます。

（地域支援第一係・鷲見彩子）



【無人防除機による散布の様子】



【堂上蜂屋柿】